

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

縣報

第八十九號

明治卅五年五月廿四日 和歌山縣

公文

○和歌山縣令第七十四號

炭疽發生ニ付左記ノ區域ヲ豫防線トシ牛馬羊豚ノ出入往來ヲ停止ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十五年五月十九日

一 那賀郡狩宿村

和歌山縣知事 椿 善一 耶

安田安太郎宅地南側道路ヨリ西へ見透シ名手川ニ至ル及全道路ヨリ北へ見透シ山田裏
助所有田地ニ至ル及全田地ニ沿フ道路西へ見透シ名手川ニ至リ南へ見透シ一團

○和歌山縣令第七十五號

和歌山市内紀ノ川并ニ堀川係共同物揚場及ヒ河岸地取締規則左ノ通相定メ明治三十五年六月一日ヨリ施行ス

明治三十五年五月廿日

和歌山縣知事 椿 善一 耶

共同物揚場及河岸地取締規則

第一條 本則ハ和歌山市内ニ於ケル紀ノ川并ニ堀川係共同物揚場(川岸小段又ハ物揚ノ爲特ニ設備アル場所)及ヒ河岸地ニ之ヲ施行ス

第二條 共同物揚場ニハ陸揚又ハ舟積ノ物品ヲ一日以上留置クコトヲ得ス但シ物品ノ種類ニ依リ一日内ニ他ニ運搬スルコト能ハザル事由アルモノハ所轄警察官署ノ承認ヲ得テ五日以内ノ期間ヲ限リ之ヲ留置クコトヲ得

前項但書ニ依リ承認ヲ受ケタル物品ニハ其承認ヲ受ケタル者ノ住所氏名及承認ヲ得タル月日標榜シ置クヘシ

警察官署ハ承認ヲ與ヘタルモノト雖モ共同物揚場ノ使用上妨害アリト認ムルトキハ期限ヲ指定シ留置物品ノ撤去ヲ命ズルコトアルヘシ

第三條 重大ノ物品ヲ揚卸シセントスルトキハ共同物揚場ヲ毀損セサル様豫メ相當ノ設備ヲナスヘシ

前項ニ違背シ毀損セシメタルモノハ原形ニ復スヘシ

第四條 共同物揚場又ハ借地ノ許可ヲ受ケサル官有河岸地ニ於テ荷造リ其ノ他ノ作業ヲ爲

縣報第八十九號 明治三十五年五月廿四日 第三種郵便物認可 一一

スヘカラス

第五條 夜間舟積又ハ陸揚ヲ爲ストキハ標燈ヲ掲出スヘシ

第六條 共同物揚場以外ノ官有河岸地ニ物品ヲ置キ又ハ舟積陸揚ヲ爲スヘカラス但借地ノ許可ヲ受ケタルモノハ此限ニアラス

第七條 河岸地ニ私有物揚場ヲ設ケ又ハ修理ヲ爲サントスルトキハ圖面及仕様書ヲ添ヘ市役所ヲ經營廳ヘ願出テ許可ヲ受クヘシ

第八條 本則第二條第一項第二項并ニ第四條乃至第七條及ヒ第二條第三項ノ命令又ハ第三條ノ設備ヲ爲サスレテ物揚場ヲ毀損セシメタルモノハ拘留又ハ科料ニ處分ス

○和歌山縣令第七十六號

炭疽發生ニ付左記ノ區域ヲ豫防線トシ牛馬羊豚ノ出入往來ヲ停止ス
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十五年五月二十日

和歌山縣知事 椿 基一 耶

一海草郡龜川村大字岡田小字岡村

東 山東往來以西

西 岡田佐兵衛多田徳松居宅後道以東

南 三分筋用水路限リ

北 多田徳松居宅横道限リ

一
圖

○和歌縣告示第百二十九號

縣下伊都郡岸上村三輪三彌飼牛一頭本月十四日炭疽ニ罹リ全日斃死セリ

明治三十五年五月十九日

和歌山縣知事 椿 義一 郎

○和歌縣告示第百三十號

左ノ狩獵免狀亡失ノ旨届出タリ

明治三十五年五月十九日

和歌山縣知事 椿 義一 郎

西牟婁郡近野村大字近藤

野長 頼 忠 男

第二五〇五號乙種三等

明治三十四年十月十五日下午付

全 郡全大字

第二五七二號乙種三等

山 本 幹

明治三十四年十二月十一日下午付

右狩獵免狀明治三十五年四月十日ヨリ五月十日迄ノ間ニ於テ各自宅内ニテ亡失セリ

○和歌縣告示第百三十一號

縣下那賀郡狩宿村長岡男太郎飼牛一頭本月十四日炭疽ニ罹リ全十六日斃死セリ

明治三十五年五月十九日

和歌山縣知事 椿 義一 郎

○和歌縣告示第百三十二號

豕虎列拉終熄ニ付左記縣令發布ノ旨高知縣ヨリ通知アリタリ

縣報第八十九號

明治三十五年五月廿四日

第三種郵便物認可

四

明治三十五年五月十九日

和歌山縣知事 椿 義一 郎

高知縣令第四十號

明治三十五年一月一高知縣令第九號及全第十號ハ廢止ス

明治三十五年五月十一日

高知縣知事 渡 邊 融

(參照)

明治三十五年二月二和歌山縣告示第三十四號高知縣ニ於ケル豕虎列拉豫防ニ關スル件

○和歌縣告示第百三十三號

縣下海草郡龜川村大字岡田岡田佐兵衛飼牛一頭本月十五日炭疽ニ罹リ全十七日斃死セリ

明治三十五年五月十九日

和歌山縣知事 椿 義一 郎

○和歌山縣告示第百三十四號

本月海軍教育本部告示第三號ヲ以テ海軍機關學校生徒召募ノ件告示セラルル號アハ同生徒志願者心得ニ抵觸セサル者ニシテ志願ノ者ハ郡ハ郡役所町村役場市ハ市役所ヲ經テ願書當廳ニ差出スヘシ

但此願書ハ本年十月十日限リ海軍機關學校ニ到達ヲ要スルニ付其ノ見込日數ヲ豫定シ通滞セサル様注意スヘシ

明治三十五年五月二十日

和歌山縣知事 椿 義一 郎

○和歌山縣告示第百三十五號

社司社掌試驗細則左ノ通相定ム

但明治二十九年九月當縣告示第百三號ハ廢止ス
明治三十五年五月二十一日

和歌山縣知事 椿 莪 一 郎

社司社掌試驗細則

第一條 社司社掌ノ試驗ヲ受ケントスルモノハ別紙書式ニヨリ試驗願書ニ履歷書ヲ添ヘ所
委町村長及郡市長ヲ經テ試驗期日二十日前迄ニ當廳ヘ到達スル様差出スヘシ
前項ノ試驗期日及場所ハ其時々告示ス

第二條 年齡滿二十年以上ノ男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當セサル者ハ社司社掌ノ試驗ヲ
受クルコトヲ得

一 重懲罪ヲ犯シタル者但シ國事犯ニシテ復讐シタルモノハ此限リニアラス

二 定收ニ服スヘキ輕罪ヲ犯シタル者

三 身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者及家資分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ
確定シタル後ヨリ復讐ノ決定スルニ至ル迄ノ者

四 禁治產者準禁治產者

五 懲戒免官及免職ノ處分ヲ受ケタル後二年ヲ經過セサル者

第三條 第一條ノ出願者ハ身分職業年齡并兵役ニ關スル事項又ハ第二條ノ各號ニ抵觸セザ
ルヤ否市町村長ノ証明書ヲ履歷書ニ添付スヘシ

第四條 社司社掌ノ試驗科目左ノ如シ

一 祭 式 二 倫 理 三 國 文

野報第八十九號

明治三十五年五月廿四日

第三種郵便物認可

五

四 作 文 (祝詞) 五 法 制 (現行神祕法令)

第五條 試驗委員長(受驗人名簿)ヲ調査シ願書到着ノ順序ニヨリ各受驗人ノ番號ヲ定メ之
ヲ試驗當日受驗人ニ告知スヘシ

第六條 受驗人試驗室ニ入ルトキハ試驗委員長ヨリ告知ヲ受ケタル番號順ニヨリ着席スヘ
シ受驗人ハ筆墨等必要品ノ外書類其ノ他ノ物品ヲ携帯スルヲ許サス

第七條 受驗人ハ羽織袴又ハ洋服ヲ着用スヘシ

第八條 試驗ヲ分テテ筆記試驗口述試驗トス
筆記試驗ニ合格シタル者ハ口述試驗ヲ受クルコトヲ得ス
筆記試驗終リタルトキハ翌日受驗人扣所ヘ合格者ノ姓名ヲ揭示スヘシ

第九條 口述試驗ハ試驗委員ノ列席ヲ以テ受驗人一名毎ニ試問シ即時答辨ヲナサシムヘシ

第十條 受驗人ハ答案ニ每紙番號ヲ記シ姓名ヲ掲グヘカラス
答案ハ楷書又ハ行書ニテ明瞭ニ記載スヘシ

第十一條 受驗人ハ其ノ試驗中ハ總テ試驗委員ノ指揮ニ從ヒ靜肅ヲ貫トスヘシ若シ其指揮
ニ從ハサルカ又ハ試驗委員ニ於テ他ノ妨礙トナルヘキ見込アルモノハ即時退場ヲ命スル
モノトス

第十二條 受驗人ハ試驗問題ニ付試驗委員ニ質問スルコトヲ得ス

第十三條 試驗ハ筆記試驗ト口述試驗ト區別シテ其ノ合格不合格ヲ定ムルモノトス
筆記口述試驗トモ各科目ノ定點數ヲ十點トシ其得點平均六點以上ヲ合格トシ其ノ未滿ヲ

不合格トス又一科目ノ得点四点以下ノモノハ不合格トス

第十四條 各科目ノ成績ハ試験委員總員ノ評定スル所ニ依ル可否相申スルトキハ試験委員長之ヲ決スヘシ

第十五條 試験委員長ハ試験ヲ終リタル後五日以内ニ試験成績表ヲ調製シ合格證書ヲ下付スヘシ

第十六條 受檢人試験ノ日時ニ出席セス既ニ出席シタルモ試験時間中退室シタルトキハ當期ノ試験ヲ受クベコトヲ得ス

試験願書式

族籍戸主又ハ何某嗣子二三男

兄弟等ノ別

職 業 氏 名

生 年 月

私債社司社掌試験相受度別紙履歴書相添ヘ此段奉願候也

現住所

氏 名 印

年 月 日

社司社掌試験委員長氏名宛

前書ノ通相違無之候也

年 月 日

市町村長名印

履 歷 書 式

(用紙美濃紙)

何府縣華士族平民

氏 名

生 年 月 日

本 籍

一何府縣何國何郡市何町村何番地戸主又ハ何某男弟伯叔父等

現 住 所

一何府縣何國何郡市何町村何番地(何某方)寄留

學 事

一何年何月ヨリ何地某ニ就キ又ハ官公私立何學校ニ於テ何學ヲ修メ何年何月ニ至ル所修ノ學科大略何々

一何年何月ヨリ何地官公私立何學校ニ入り何學科ヲ修業シ何年何月卒業ス其證書ノ寫別紙紙ノ如シ修業何年何月間ニシテ其學科ハ何々

一何年何月何地何處何々ニ於テ何々ノ試験ヲ受ケ及第ス其證書若クハ免許狀ノ寫別紙紙ノ如シ受験ノ學科ハ何々

職 業

一何年何月何地官公私立何學科教員トナリ教授ニ從事シ何年何月解職其間何々ヲ兼勤シ何々ノ事務ニ從事ス以上ノ辭令左ノ如シ

此所ニ辭令ノ全文ヲ各通トモ掲記スヘシ又私立學校等ニテ辭令ノナキモノハ之ヲ省キ其俸給等ヲ本文ニ詳記スヘシ

一何年何月何官廳ニ於テ何々拜命何年何月マテ何々ノ事務ニ從事シ何年何月辭職免官又ハ轉任以上ノ辭令左ノ如シ辭令全文ヲ掲ク

一何年何月ヨリ何地何會社ニ雇ハレ(俸給月何圓)何々ノ業務ニ從事シ何年何月ニ至テ解雇其間俸給ノ増加何回最終俸給月何圓

一何年何月ヨリ何年何月マテ何業ニ從事ス
一何年何月ヨリ何々ノ著譯ニ從事シ何年何月ニ至ル其著譯スル所ノ書名左ノ如シ
著譯書名ヲ掲ク但洋書ハ其原名ヲモ記スヘシ

賞 罰

一何年何月何地ニ於テ何々事由ノ爲メ賞ヲ受ク其辭令左ノ如シ

辭令全文ヲ掲ケ辭令ナキモノハ本文中ニ受賞ノ事由ヲ詳記スヘシ

一何年何月何地ニ於テ何々事由ノ爲メ罰ヲ受ク

辭令アルモノハ各其全文ヲ掲ケ辭令ナキモノハ本文中ニ其事由ヲ詳記シ又裁判所ノ宣告書ハ其要領ヲ記スヘシ
總テ罰ハ其受罰ノ日數過料罰金ノ額等ヲ記スヘシ

破産等ノ有無

一何年何月何地ニ於テ破産若クハ家資分敗ノ宣告ヲ受ケタルモ何年何月何日復權ス(破

産又ハ家資分敗ノ宣告ヲ受ケタルコトナシ

一何年何月何日身代限りノ處分ヲ受ケタルモ何年何月何日債務ノ辨償ヲ終フ(身代限りノ處分ヲ受ケタルコトナシ)

一何年何月何日何地ニ於テ禁治産又ハ準禁治産ノ宣告ヲ受ケタルモ何年何月何日何々ノ申請ニ依リ解除セラレタル等其要領ヲ記スヘシ(禁治産又ハ準禁治産ノ宣告ヲ受ケタルコトナシ)

△右ノ處分ニ付裁判所ノ申渡ヲ詳記スヘシ

右之通相違無之候

年 月 日

名、印

邊證書ハ楷書又ハ行書ニテ明瞭ニ認ムヘシ又△印ノ所ハ朱ニテ認ムヘシ

○ 辭 令

海草郡警察署長

警 部

田 中 新 太 郎

警察部警務課兼保安課勤務ヲ命ス

警察部衛生課長

